

新卒者 11 名を含む 19 名の新入職員を迎えた 4 月 1 日から早くも 2 か月が経とうとしています。緊張しながら先輩の指導を聴き、行動している職員の姿を見ておきますと、私の心も引き締まります。各部門の教育プログラムにより、社会人として着実に成長し、患者さんの為に働く喜びを感じてもらいたいです。

入職式の時に、仁生会を開設した磯矢良会長の言葉を紹介しました。

『医師になり、いつからか仁という字に特別な思いを持つようになった。

慈しみ・思いやりのある医師、病院としてやっていきたいと思い、仁に生きる

仁生会として新たにスタートした。』

この言葉は、昭和 42 年 10 月に医療法人社団仁生会を設立した時の（甲南病院開設は昭和 39 年 8 月 1 日）磯矢良会長の思いです。この頃は、まだまだ十分な設備もありませんでしたが、当時から現在に至るまで、同じ志を持った職員の力によって病院としての役割を果たすことができている。職員に改めて感謝の気持ちを伝え、若き日の会長の思いを共有しました。

今年の 8 月には CT 装置、マンモグラフィー、一般撮影装置を一新します。工事中は皆様にご迷惑をお掛けすることになりますが、今まで以上に早期に的確な診断ができるようになりますのでどうぞご理解くださいませ。

5 月 20 日の病院祭 きらめきフェスタには 286 名の皆様にご参加いただきました。

手術室見学ツアー、動脈硬化チェック、神谷医師による腹腔鏡手術の講演、乳がんについての相談など、参加していただいた皆様には充実した時を過ごしていただくことができました。ご参加、誠にありがとうございました。来年も楽しくてためになる病院祭が開催できるよう、企画して参ります。協賛いただきました企業様に対し、末筆となりましたが心より御礼を申し上げます。